

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

號七三三第・日六月九輯編局報情

週報 眞實



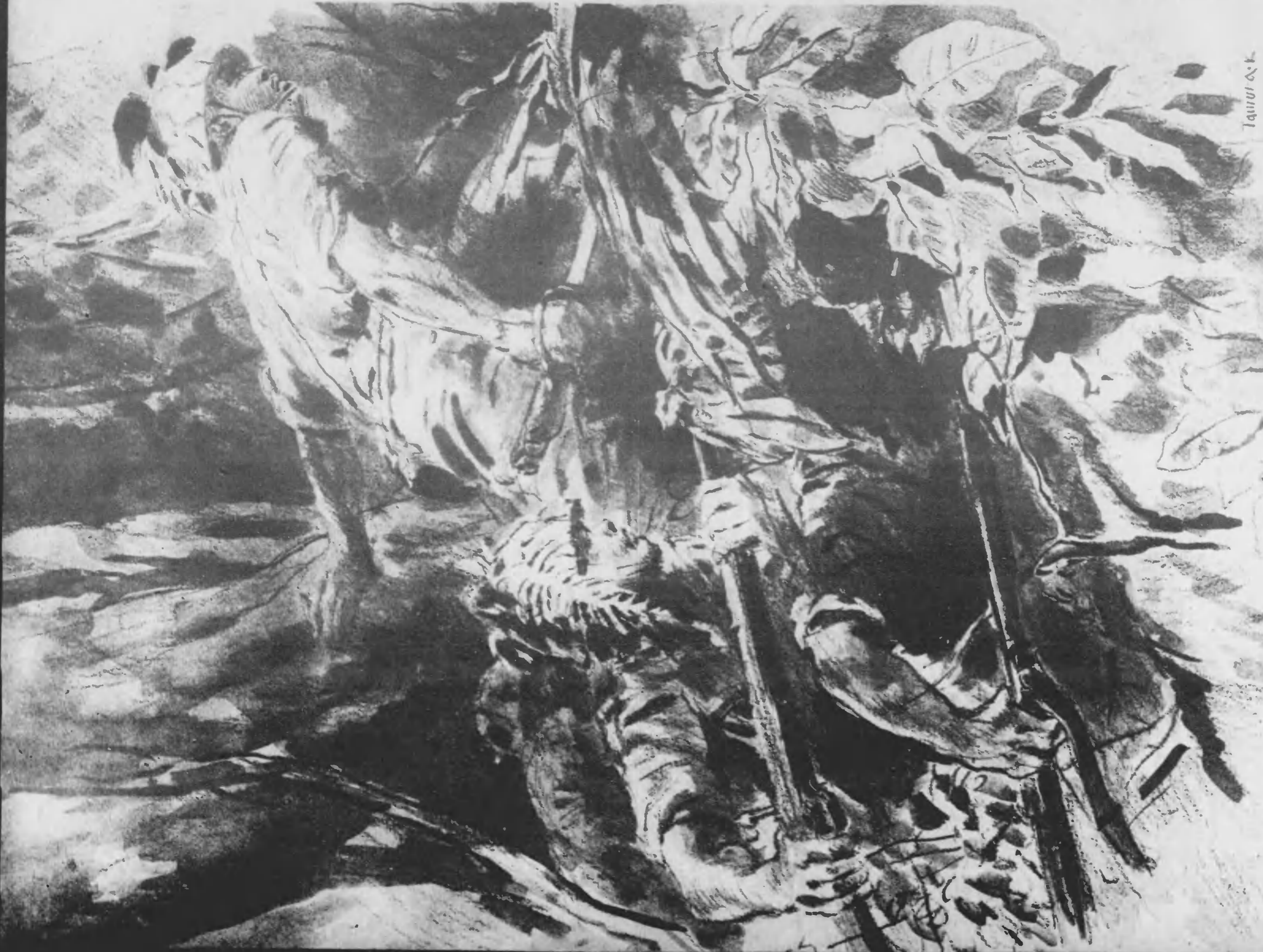
札
の
時
生々と 逞しく
御褒威をいだいて
窮まることのない民族の
力
この力で 敵を撃たう



よく仰ておます。ご賞読の通
三ノ子兄弟、大阪府下街池田林の
森健二、秩次、唐容（いづれも五
歳）もやん達です。この三弟は、
本誌昭和十九年二月二十五日四百五十二號
にも紹介してゐますが、既ながら
に頼母しい成長ぶりではおます
んか

一億魂の闘魂

ガダルカナル島残留勇士奮戦想像図 田村孝之介 画



ガダルカナル島には皇軍將兵が未だ居残つてゲリラ戦により敵をなやましてゐる。頭髪も刈らぬ。襦袢も剃らぬ。湯にも入らぬ。満足な食糧も、十分な弾丸もない。軍服として露が

ら肌を守るに足るものではない。そして今日も明日もまた明後日も、日も射し入らぬ島のジャングルの中で、これらの神兵たちはまるで人間とは思へぬ姿に、さんざんの闘志をたぎらせて、

戦友の血を吸つた米國兵の生命をねらひつゞけてゐるのだ

あゝこの闘魂——この闘魂こそ祖國をして不滅とする最も堅固な城砦である。大宮島、テニアン島では、この闘魂を以てわが將兵がいまも死闘をつゞけてゐる。さきごろ敵記者の報じたスペイン同胞の最期もまた、この闘魂の發露である。年もゆかぬ子供までが火をぶく手榴弾をまるで「野球試合前に選手がウォーミング・アップをやるやうに紐々として」投げ合つて自決していつたのだ

この闘魂の下に、一億の人々全部が戦ふならば、たとひ敵米國のやうな國が三つ四つかたまつて我を抑へようとしても、決しておさへきれぬものではない

畏くも 天皇陛下におかせられては、先ごろ全國地方長官に對して御激励の御言葉を賜はつたのであるが、その中で

「戦局危急皇國ノ興廢繫ツテ今日ニ在リ」と仰せられてゐる。深き御憂念のほど并察するだに畏れ多い極みである

われはこゝに誓はう。必ずこれら不屈の闘魂もて御憂念を安んじたてまつり、皇國をして磐石の安泰に置かんことを

週間點描

いくら物があつても物だけでは戦力とならない。ボーキサイドを飛行機につくり上げるものは働く人の力である。この意味からいつて、決戦下の無益徒勞は利敵行為だ

伊徒働券令、女子挺身働券令、純宗機の緊急増産への官廳職員動員令、この三働券に、今こそ一人の勞働者もなほ働券發給を請願して、一億の働く力を發揮しよう

×

現代戦争は正に科學の戦ひである。軍醫兵隊の研究に實験中、二十三歳の若さで科學戰の若根と成つた東京帝大助手大段政春氏は、二階級特等ともいふべき榮譽を受け、勲功は萬載に香る

×

戦後通貨券なるものによつて、世界を金融りにしよう、今から戦らぬ國の政策用仕がしい柔美に引きかへ、日本銀行は中國の中央銀行、銀行、四重國の信用を伸張して、國貨を中心とする大東亞の金融圏を固めた。大東亞の「アジア」は一つは財を實現されてゆくのだ



鉄鋼重要原料の鉄

〇 第五回ともなれば、職員たちはよくく〜と二重門前より下りて、我れ先にと作業場へ急ぐ(豊石製鉄)

坑内は冷風の中よりもす〜と冷たい鉄の音を、鐵山の匂ひといふ特有のガスにつつまれながら、あんなの打をたよりに穿孔機を動かす、く〜と響き響きのガスを打込む(豊石製鉄)

最も重大といはれてゐる現在の戦局を打開する唯一の道は、われもまた鐵に劣らぬ戦力を急激に増強することである

そのためには、直接戦力の基となる鐵、銅、鉛、亜鉛、マンガン、水銀、クロム、タンタム、モリブデン、ニッケル、アンチモン、石炭、アルミニウム、鉛等の重要原料を、明日の千トンより今日の十トンを積み出し、さらに作戦の要求に随ひ得るやう、十分に増産確保することだ

今年も全国の重要原料製鉄三百五十ヶ所を中心として、断平、断多抜かうと、八月一日から九月三十日まで重要原料増産期間が実施されてゐる。重要原料の増産期間もこれで四回目であるが、今年も戦局の切迫に響き、特に急増産の目標を定め、これを急進達成すべく各製鉄が火の玉になつて戦ひ續けてゐる。これまでのやうな行軍的な色彩は全部をめた。不念の調査や監視も控へ、また鐵山の幹部が出陣を強行せざるやうな外部の行軍や台詞は、できるだけこれを避けな。現場の生産第一主義、これこそ必勝増産期間を通じて各製鉄がその目標達成に奮闘する故土の合言葉である

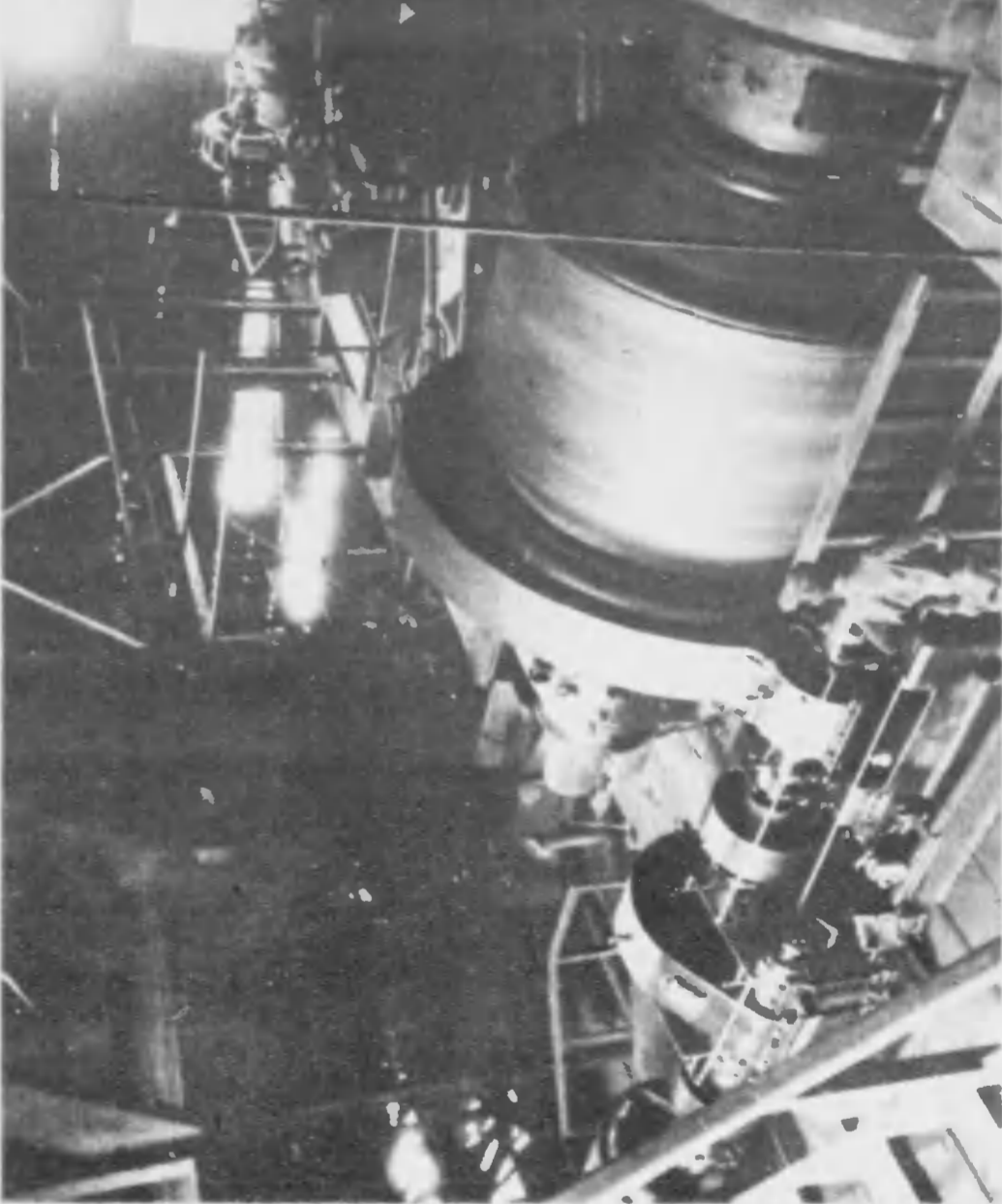
戦らう、何としても戦らう。決死増産と文字通り實踐してゐる鐵山の雰囲気など、必ず感服から、響つてくれ〜と全国の各重要工場からあがつてゐる職女達の熱い呼びかけが、必ずや急増産に戦力を支援して、思ひ上の増産を達成するに貢献するに違ひない



鐵



〇 手洗場場で、鐵石の選別を繰り返してゐる女子挺身隊(豊石製鉄)



〇 鐵山より採られた鐵石は、選別機にかけて粉砕されるのもである(豊石製鉄)



〇 鐵山へ積み込まれた鐵石は、特有のバンドで運搬作業で運搬されてゐる(豊石製鉄)

産隣組工場

東京都立川市



秋、不足、神州
隊員、協力一致増進

「こゝだけはおばさんに譲りませんわ」飯金作業にお姉さんはお母さんと増産競争

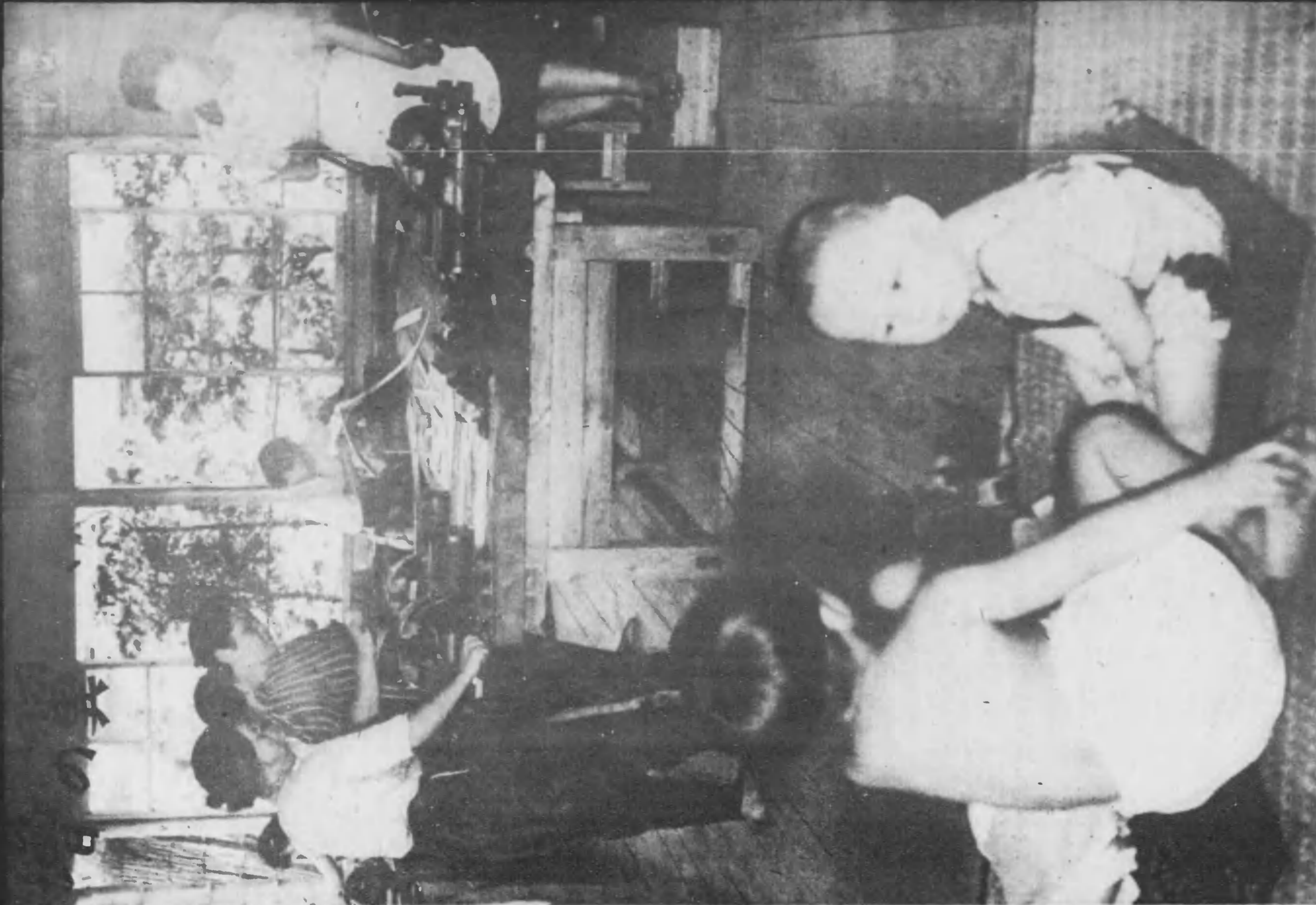


秋、不足、神州
隊員、協力一致増進

「こゝは簡単な仕事なら臨時仕事にうつって下さいわね」と六十四歳のおばさんも増産に一夜



生活をつめて貯金、今はさらに餘分に働いて貯金だ。隊員の積立て貯金が約一万円あるといふ



「防やはい、子ね」朝八時半から三時半までお母さんの働く間、小さいお姉ちゃんとおとなくお守られてみる

隊の本陣はカフエーを改造したもの。作業場も機織り機や縫製機を並べたものを、物置小屋を利用したもの、さまざま



働くことが誇りです。そのためには部下夫人も、社員の奥さんも、産婦士のおかみさんありません。みんな一つに心を合せて働きぬきませうと、主婦たちが飛行機増産へ突撃してゐる隣組工場が立川市にあります

この立川産隣組工場は昨年十二月八日の大空襲の日、〇〇飛行会社の協力工場として出されたのですが、空襲の災禍に目ざめた主婦の熱意は、配給や留守の世話を引受ける便利な組織と相俟つて、日増しに隊員がよえ、今では立川市の四十九町会のうち四十町会が参加し、隊員も八百名に及び、一ヶ月の生産額は八万円を越えたといふ大戦果を上げてゐます

これこそは、女學生の勤勞通年動員に續いて、去る八月二十三日に決つた十二歳から四十歳までの獨身女子の勤勞動員強化に應じて、従後の主婦もまたたくましく勤勞の陣所に加はつてゐる心強い姿ではありませんか

「十分食べて十分働ませう。臨時増産に立つた産婦は、隊員の戦力に」



